

メキシコ金融政策（2021年8月）

僅差ながらも2会合連続での利上げを決定

2021年8月13日

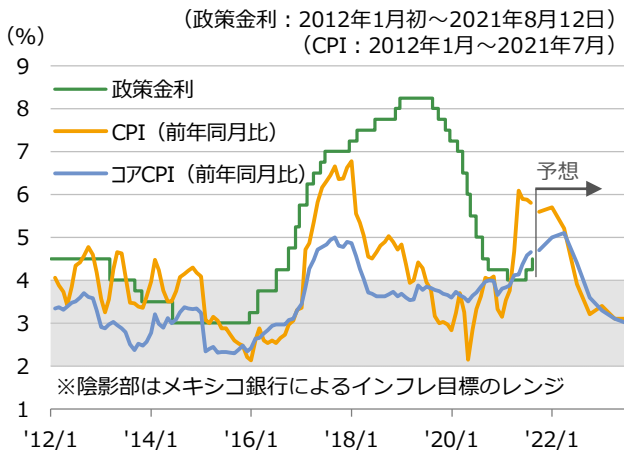
インフレ懸念への対応が通貨の安定に

メキシコ銀行（中央銀行）は8月12日（現地、以下同様）、市場予想通り政策金利を4.25%から4.50%に引き上げると発表しました。前回と同じく、政策委員5名の内、3名が利上げを、2名が据え置きを主張しており、僅差での決定となりました。

通常、メキシコ銀行のインフレ予想は四半期レポートでアップデートされますが、8月31日の四半期レポートの公表を待たずして、金融政策決定会合の声明文で最新の予想が示されました。全体的に6月2日公表時点からインフレ予想が上方修正されており、例えばコアCPI（消費者物価指数）がインフレ目標のレンジ上限である4%を下回る時期は、2021年7-9月期から2022年7-9月期へ1年も先延ばしされています。メキシコ銀行は、インフレ率の上振れは一時的との見解を維持していますが、この「一時的」の期間が長期化することが今後の価格形成にも影響する点を警戒しています。こうした状況を考慮し、インフレ目標を達成するためには金融政策を引き締める必要があると、利上げに至った背景が説明されています。

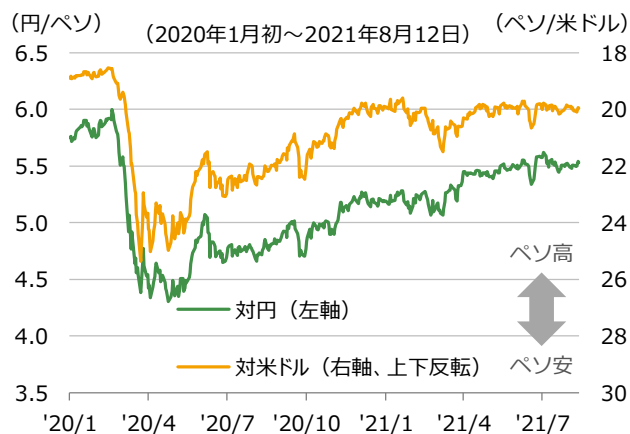
メキシコ・ペソにとってのリスクは、米国の金融政策正常化により米ドル高メキシコ・ペソ安が進むケースです。しかし、足元のメキシコ銀行の金融政策をみる限り、通貨安によるインフレ上振れも容認しないと考えられるため、メキシコ・ペソの安定は今後も保たれると想定されます。

メキシコの政策金利とCPI



(出所) メキシコ銀行、ブルームバーグ

メキシコ・ペソの対円・対米ドルレート



(出所) ブルームバーグ

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management